

# 地域包括ケア市民フォーラム

## ～おうちっていいよね～

日時：平成30年11月17日 場所：気仙沼プラザホテル 参加者：166名

病気や障害があったとしても住み慣れた「我が家で」暮らすための仕組みがあります。どんなことが出来るのか、元気なうちから聞きにきませんか？

## 第1部 地域の取組について

### 1 回復期リハビリテーション病棟について

気仙沼市立病院 副院長 横田 憲一氏

疾病罹患後には疾病に伴う機能障害の他に「廃用症候群」が加わり、退院後の生活が困難になったり退院自体が困難になる場合が増えている。その解決には十分な栄養の下に早期からリハビリを行う以外に道はなく、罹患後早期に開始し、その後シームレスに回復期に移行することが効果的であることを紹介した。これまで当地域では回復期リハビリ機能はなく、多くの患者が十分にリハビリを受けられなかった。立ち上げ後約10カ月の臨床経験を踏まえ、旧病院時代に比べ回復期リハビリの開始時期は「脳血管疾患」で約8日、「運動器疾患」で約12日短縮され、より早期からリハビリを提供できる体制となったことを報告した。これは転院等の時間的ロスが短縮できたためであり、急性期病院に回復期リハビリが併設されることの利点が表れる結果であった。また、回復期リハビリの実際を紹介し、FIMを用いた効果の評価法や実際の症例の報告とともに着実に表れる医療効果について紹介した。



### 2 住民同士の支え合いについて

社会福祉法人気仙沼社会福祉協議会 地域福祉課 課長 鈴木 美紀氏

社会福祉法人気仙沼社会福祉協議会 地域福祉課 地域支え合い推進員 齋藤 貴恵氏

新町なかよし会 会長 鈴木 益枝氏

#### 生活支援体制整備事業とは

住み慣れた地域で暮らし続けられるよう  
ご近所同士や、様々なつながりから生まれる、  
見守りや助け合いの輪を広げ

**「支え合える地域づくり」**を推進する事業

平成29年度から気仙沼市より気仙沼市社会福祉協議会が、委託を受けました。

平成27年度に介護保険制度が改正され「生活支援体制整備事業」が創設されました。この事業は、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ご近所同士や様々なつながりから生まれる見守りや支え合いの輪を広げながら、「支え合いの地域づくり」を推進するものです。本会では平成29年度からこの事業を市から受託しました。取り組みの柱の一つとして「地域支え合い推進員」を配置しました。支え合い活動の推進や調整を担います。二つ目が支え合いの地域づくりにつながる「話し合いの場」（協議体）の設置です。

地域には、既に様々な『地域のお宝』（近隣での声掛けや見守り、自治会等での交流の場等）があります。意識せず当たり前に行われているこれらが見守りや、コミュニケーションの場になっています。『地域のお宝』を大切に育みながら、皆さん方と力を合わせ、支え合いの地域づくりに取組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。